

緑生瓦版

2007.01.01

第六号

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます
平成十九年 元旦

これから、われわれが目指す環境調査

自然環境調査は、制度的には環境省の所管になると思うが、実業における「環境アセスメント」は建設業に属し、建設コンサルタントとして仕事をする機会が多い。したがって、現在、建設業界を席巻している入札制度の混乱の影響をもちに受けている。

いま、「談合」防止のために行われている一般競争入札は、「談合」そのものを少なくすることには成功しているが、反動として、低価格の受注を常態化させている。低価格による受注は、いろいろなどころで、社員の過剰労働や、業務の質の低下を招いている。にもかかわらず、入札制度そのものは当面まだ、改善される気配をみせない。

このような状況においては、できるだけ低いコストで、精度の高い調査を行い、会社の競争力を培うことが不可欠である。それを実現することは並大抵ではないけれど、この難しい相反するような課題に、今年はどうしても取り組んでいかなければならないと思う。ともかくにも、禪を引き締めてかからねばなるまい。

代表取締役

井上 康平

自然環境の保全と技術者の役割

昨年は多くの人と出会い、自然環境の問題について話をする機会が得られました。大学生、研究者、公務員、コンサルタント、日本人だけではなく、アメリカの人やロシアの人、インドネシアやインドの人、それぞれに野生生物や自然環境に大きな関心を持ち、今の地球環境の変化に様々な危惧をいだいている人々です。

国連大学で研究するチャンドラさんは日本人の野生生物への無関心さと、日本という国の担う役割を次のように指摘されました。「象が今でも大量に密猟されていることを日本人はどれだけ知っているでしょうか？多くの人は日本とは関係のないことと思っっています。しかし日本のように強い経済力を持った国の人々がわずかでも象牙製品を購入することが、遠くアフリカでの密猟につながります。」と。また、日本での野生小動物のペットブームが、結果として南米や東南アジアからの違法な輸入を引き起こす一因となっていることは、皆さんも日頃感じていらっしゃると思います。

一方で、国内の自然と生き物についても、多くの日本人の関心は決して高いとはいえない

ようです。そのような状況の中、毎年確実に、生き物の生息環境は減少し細分化されています。例えば、ツキノワグマやニホンカモシカが人家のすぐ近くに頻繁に現れるのは、生息環境の変化と無関係ではないと感じられます。

日頃、自然環境や動物、植物の調査にかかわる私たちは、このような環境の変化を実感する機会も多く、重要な問題に気がつくことも少なからずあります。ところが、このことを伝えることについては、これまで、どちらかというその後回しになっていたように感じます。しかし、このような課題は、私たちだけのものではなく、社会に伝え、問いかけていくべきものであることは明かです。

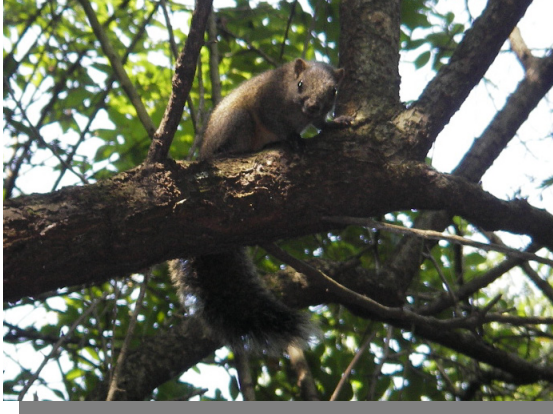
今、新しい年を迎え、自然環境と野生生物に関わる様々な問題について、皆様からより深い理解をいただけますように、様々な努力をしていかなければならないと、あらためて感じています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

取締役

井本 郁子

写真だより



タイワンリス Callosciurus

台湾南部の出身でニホンリスよりひとまわりほど大きなリスです。外来種として注目され、個体数の多い神奈川県などでは、リスへの給餌を禁止するなどの対策がとられています。

ヨシガモ Anas falcate (オス)

頭部がナポレオンの愛用した帽子に似ていることから、ナポレオンハットとも呼ばれ、その美しい姿はバードウォッチャーにも人気です。関東では印旛沼などに多数飛来していましたが、環境の悪化から年々個体数が減少しています。



アンケートのお願い!

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** をお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。第七号は、暖かい春までもう一息という季節、三月一日の発行を予定しています。

特集では当社の『河川水辺の国勢調査』に関する実績を紹介いたします。

正月料理の定番「お雑煮」は、醤油、白味噌、ぜんざい、角餅、丸餅など地域によって様々です。味や具材で、驚かれたり驚いたり、ということがよくあります。自分では当たり前と思っていることが、実は他の人には驚きだったりということ、意外に多いのではないのでしょうか。ちなみに皆さんはどんなお雑煮を食べましたか?

